

鳥取市

～ 地域のつながりを活かし、皆で予防対策を呼びかけあう熱中症対策事業 ～

【鳥取市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(1)地域の課題

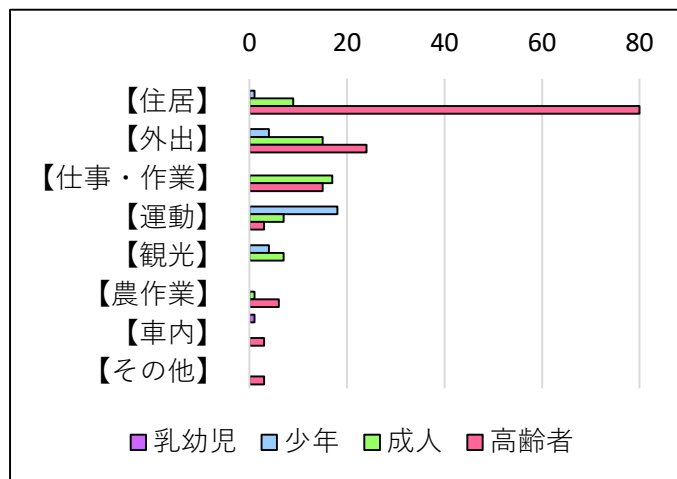
■全国的に見ると、鳥取県の人口10万人当たりの熱中症の搬送者数が多く、2022年5月～9月は全国平均56.31人に対し、全国最多の99.75人であった。（総務省消防庁ホームページより）

■特に高齢者の搬送者数が多く、搬送者数全体の半分以上を占めているが、その多くが住居内の発症であり、高齢者に対する効果的な取組が必要である。（下図参照）

■平成25年度からクーリングシェルターの取組を行ってきたが、コロナ禍で取組の展開を休止したため、住民の認知度が低く、再度クールシェルターの推進を図っていく必要がある。

■市内に県内有数の観光地である鳥取砂丘が存在するが、観光客の救護件数が多く、令和4年度はコロナ禍以前の令和元年度、平成30年度と比較しても、2倍の件数であり、注意喚起をしていく必要がある。

令和5年度【鳥取市】発生状況別における年代ごとの熱中症搬送者数（人）



鳥取市観光入込客数
（鳥取市ホームページより）

（人）	鳥取砂丘
令和4年	929,020
令和3年	600,258
令和2年	575,541
令和元年	1,164,887

鳥取砂丘における熱中症救護件数

発生時期	救護件数 （件）
令和4年度	73
令和3年度	19
令和2年度	29
令和元年度	39
平成30年度	34

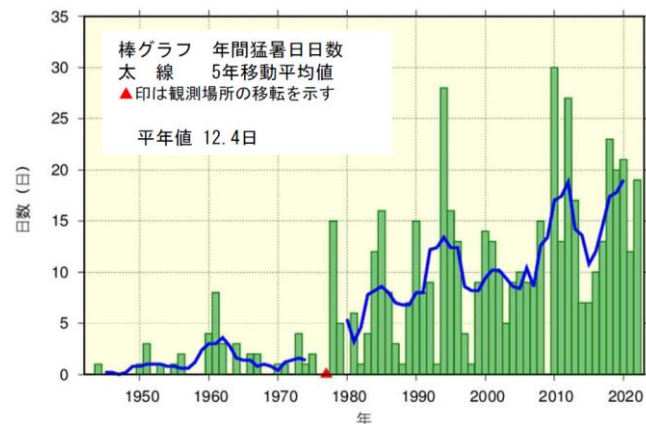
【鳥取市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(2) 地域の特徴

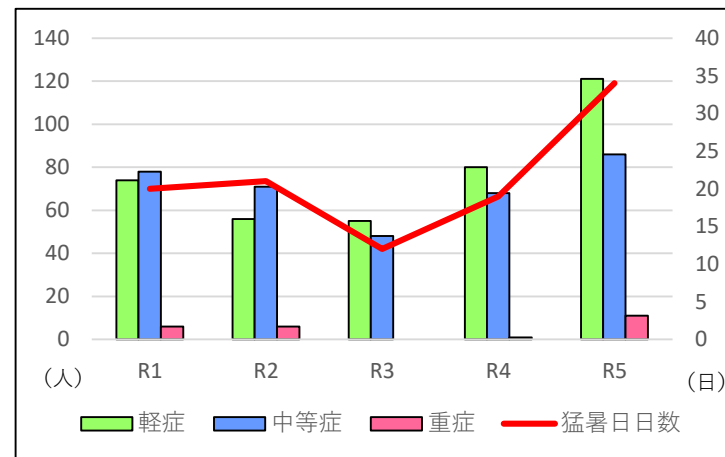
- 人口：188,465人（令和2年国勢調査）
うち65歳以上54,990人（29.2%）
- 面積：765.31km²
- 鳥取平野を中心に市街地が展開しているが、市域の9割を中山間地域が占めている。
- 日本海型の気候で、夏は最高気温35℃を超える猛暑日が多い。令和5年度の猛暑日日数は過去最多の34日、また7月22日～8月6日には16日連続の猛暑日となり、過去最長を記録した。
- 日本海に面し、沿岸には鳥取砂丘があり、県内有数の観光地として毎年多くの観光客が訪れる。



鳥取市の年間猛暑日日数（鳥取気象台HP）



令和5年度鳥取市の猛暑日と熱中症搬送者数の比較



【鳥取市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

鳥取市における熱中症による救急搬送者数の推移

(人)

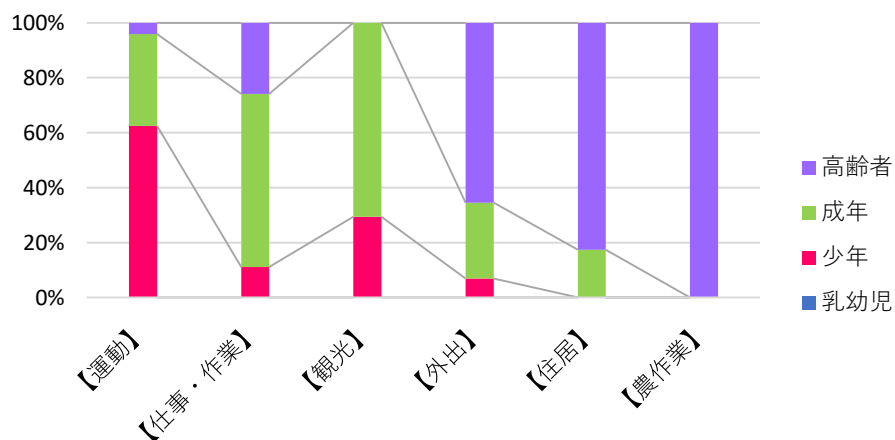
	年齢区分				傷病程度					合計
	-6歳	7-17歳	18-64歳	65歳-	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
2022	0	25	55	76	0	1	68	80	7	156
2021	1	9	33	60	0	0	48	55	0	103
2020	0	10	34	89	0	6	71	56	0	133
2019	4	15	58	81	0	6	78	74	0	158
2018	3	49	59	109	0	4	117	99	0	220

10万人当たりの熱中症救急搬送者数
(2018年～2022年の平均)

(人)

	-6歳	7-17歳	18-64歳	65歳-
全国	9	67.4	34.2	102.8
鳥取市	15.2	112.2	46.9	152.2

(2022年) 発生状況別における年代ごとの搬送者の割合



【鳥取市】 2. モデル事業の取組概要

事業名：令和5年度 鳥取市熱中症予防対策の推進に係るモデル事業

共同実施者	役割
なし	—

取組概要

<必須項目>

- (1) 熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること
- (2) 高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること
- (3) 庁内における横断的連絡体制の整備に関すること
- (4) 「クーリングシェルターの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について実行可能性を検討すること

<選択項目>

- (5) クーリングシェルターの指定・開放に向けての試行に関すること
- (6) 熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等と協働した高齢者等への見守り、声かけ活動等の実施に関すること
- (8) 顕著な高温も見据えた熱中症弱者の把握や、高齢者等の避難、誘導等に関すること

<必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目>

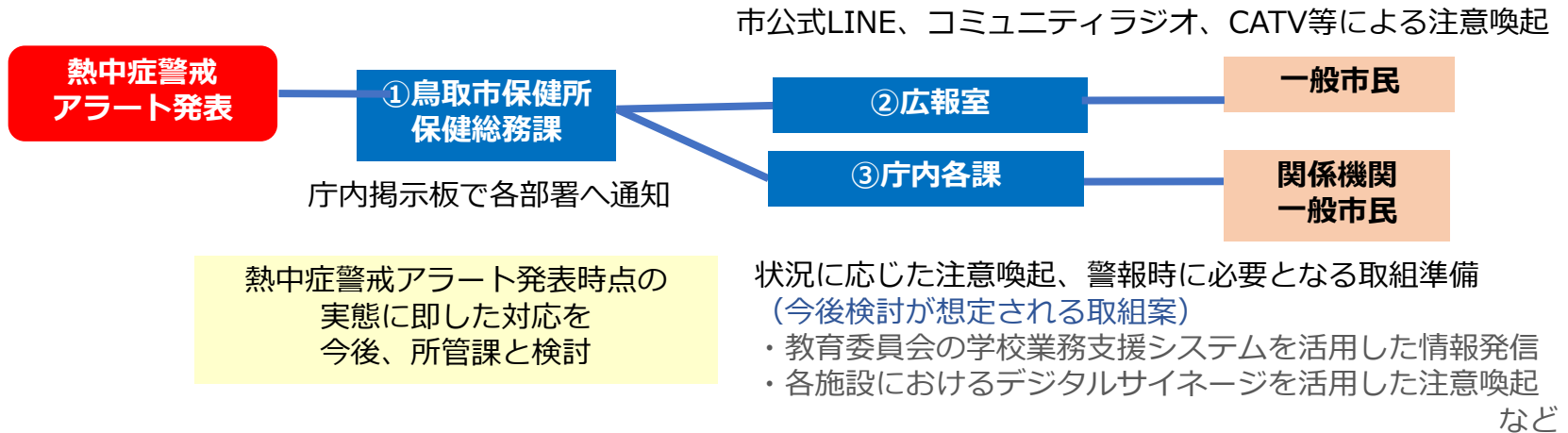
- 高齢者向け・一般の方向けの熱中症予防対策に関する動画を作成し、市民向けのセミナーの場において活用したり、ホームページで紹介を行う。

事業に期待する効果と効果の指標（KPI）

- 新規クールシェルター協力施設設置数 50 以上
- 高齢者対象アンケート回収率 60% 以上

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目1)熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること



番号	部局名	対応
①	保健総務課	庁内電子掲示板で各部署へ熱中症警戒アラート発表時のお知らせ また、本市ホームページ、来庁者に向け庁内デジタルサイネージで、熱中症警戒アラートの発表のお知らせと熱中症の注意喚起
②	広報室	熱中症警戒アラートの発表による注意喚起を市公式LINE及びラジオ放送等で実施
③	庁内各課	状況に応じた注意喚起、警報時に必要となる取組準備

【熱中症警戒アラートの発表状況と体制における現状及び課題】

鳥取県熱中症警報及び熱中症特別警報発令時には、庁内各部署が必要な対策に取り組むとともに、関係機関への指示、注意喚起を行っているが、熱中症警戒アラート発表時は、窓口課である保健総務課の情報発信にとどまっている。
鳥取県熱中症警報、特別警報発令時に求められること、熱中症警戒アラート発表時に準備しておくことよいことなど、各段階に応じた必要な対策・効果的な取組を、関係各課で意識統一を図り、方針を検討する必要がある。

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目2)高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること

地域の民生委員、市役所保健師による高齢者宅訪問等により熱中症の注意喚起を行う。特に5月～9月（鳥取県「熱中症注意月間」）の期間中を重点的に熱中症の予防啓発を行う。

<市役所保健師及び地区民生委員>

市役所保健師：約50名

地区民生委員：約500名

<訪問対象となる高齢者宅>

およそ7,500世帯

<主な活動内容>

- フレイル予防教室等での啓発：ハイリスク者への直接的な啓発と互助力を高める
- 個別訪問支援：ハイリスク者への直接的な啓発と必要時の環境支援を行う
- 集団健診時の啓発：経口補水液のサンプルと冊子を配付し利用方法の周知

<モデル事業との関係性>

- 「独居高齢者の屋内における熱中症対策」

地区民生委員の協力のもと、特にリスクの高い75歳以上の独居高齢者の屋内における熱中症対策の強化を行う。

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目3) 庁内における横断的連絡体制の整備に関すること

庁内他部署との連携の強化

【各部署における熱中症対策の取組（予定及び実績）の取りまとめ】

■第1回：4月

■第2回：10月

【鳥取市熱中症対策担当者会議の開催】

今年度の熱中症対策等の情報共有を行うことで、各部署における熱中症予防対策の取組状況をより明確化する。

熱中症注意月間終了後、例年と比較した夏の期間における気象状況や熱中症搬送者数の結果と、各部署の取組実績を情報共有し、課題整理や次年度の取組検討を行う。

○ 構成部署 ○

- ・クールシェルターの取組を行う部署
- ・メディアでの注意喚起を行う部署
- ・地域での健康指導の場で呼びかける部署
- ・スポーツ活動での予防対策を呼びかける部署 等

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルトアの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

(選択項目5) クーリングシェルトアの指定・開放に向けての試行に関すること

クールシェルトア（※クーリングシェルトアの本市名称）の取組の強化

【本市の経緯、課題】

平成25年から公共施設、中心市街地の商業施設、砂丘周辺の観光施設を中心に
クールシェルトアを設置 → コロナ禍により取組を休止
→ 取組の再構築・再展開を図っていく必要がある。

【取組の内容】

- 協力施設を再募集
→クールシェルトアの充実拡大による関係事業者との連携した取組の推進
- 協力施設への依頼
- 新ステッカーの作成、協力施設への配付
- クールシェルトアの認知度向上、利用促進
- 利用状況、運営上の課題等ヒアリング

【期待される効果】

- クールシェルトアの取組を通じた庁内連携の再構築
- 官民連携のSDGsに資する取組として発信し、熱中症予防の機運を高める
- クールシェルトア施設情報の集約及び類型化

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目6) 熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等と協働した高齢者等への見守り、声かけ活動等の実施に関する
こと

(選択項目8) 顕著な高温も見据えた熱中症弱者の把握や、高齢者等の避難、誘導等に関すること

独居高齢者の屋内における熱中症対策

【取組の背景】

搬送される高齢者の半数以上が住宅内での発症であり、早急な対策が求められる。

【取組の内容】

地区民生委員にご協力いただき、市内在住の75歳以上の
独居高齢者の方々に温湿度計とアンケート票を配付（推計3,600人）



高齢者自身に温度と湿度を測っていただき、簡単な質問と
ともにアンケート票に記入（7月～8月のうち7日間）



【期待される効果】

- 高齢者が熱中症を自分事として再認識し、自らのリスク低減につながる行動変容
- 訪問した民生委員との課題共有、アンケート結果共有により、民生委員との連携による取組の継続

【鳥取市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目)熱中症予防対策啓発動画による啓発

熱中症予防対策動画の制作

【取組の内容】

熱中症予防対策の動画を制作し、熱中症の予防啓発のため、セミナー、高齢者サロン、観光施設などで動画を活用する。

【動画の内容】

保健所の保健師が出演し、熱中症の事例紹介や予防方法、注意喚起を行う。啓発動画・CM用動画の2種類を制作する。

【活用例】

■啓発動画

⇒地域の健康教育の場、フレイル予防教室等での活用
ウェブサイトへの掲載

■15秒動画

⇒テレビCM
庁内、観光施設等のデジタルサイネージでの活用

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること】

熱中症警戒アラートの発表

- 庁内向けデジタルサイネージやウェブサイトで注意喚起
- 庁内電子掲示板により各課へ情報共有→庁内各課より状況に応じた注意喚起

【高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること】

■ 介護予防運動教室事業等**健康教育の場**（写真参照）で熱中症予防について注意喚起（地域包括支援センター・地区保健師）

■ 身内の方を心配されて様子を見てほしいという方等、個別訪問による対応（地域包括支援センター）

■ 特定保健指導等対象者の家庭訪問時に熱中症予防の啓発を行う（地区保健師）

→ 訪問により家庭の環境を把握し、個々に合わせた予防行動に繋げる。



熱中症を予防しましょう！

- 暑さを感じる
- 暑さを感じてから
- 暑さを感じてから
- 暑さを感じてから
- 暑さを感じてから

体調がわるいときは無理をしない！

- こんどと急に熱中症に変わりますので、無理をしないようにしましょう。
- 暑さが十分とれていないとき

熱中症に特に注意が必要な人

◎高齢者
年齢を重ねると、暑さやのどの乾燥に対する感覚が弱くなる。暑さに対する体温調節機能が低下するため、自覚症状が出てくても対応に間に合わない場合があります。のどが渇かなくても水分補給をしましょう。上手に涼しい場所を調整することも大切です。

◎高齢者
体温調節機能が十分発達していないし、身長が低い（暑さが低い）ので大人が感じると以上に暑く感じています。暑さやのどが渇く前に積極的に水分を摂ります。暑さやのどが渇く前に積極的に水分を摂ります。暑さやのどが渇く前に積極的に水分を摂ります。

【お問い合わせ先】

- ・鳥取市保健所保健指導課（保健指導課）0857-99-9933
- ・鳥取市保健センター 0857-9977-99-9999
- ・各総合支援市民保健課
- （電話）0857-99-9994 （FAX）0857-9977-99-9994 （FAX）0857-99-9994
- （FAX）0857-99-9994
- （FAX）0857-99-9994

熱中症に注意

高温が強い 湿度が高い 急に寒くなった 湿度が高い 熱く乾いた 暑熱の要因

熱中症の症状と重症度

重症度	症状	対応
軽症	・のどが渇く ・立ちくらみ ・めまい ・大量の汗	● 涼しい場所で休憩 ● 水分をこまめに摂る ● 熱中症の症状が重くなる
中等症	・吐き気・おう吐 ・めまい ・意識がぼやける	● 涼しい場所で休憩 ● 水分をこまめに摂る ● 熱中症の症状が重くなる
重症	・意識がぼやける ・吐き気・おう吐 ・めまい ・意識がぼやける	● 涼しい場所で休憩 ● 水分をこまめに摂る ● 熱中症の症状が重くなる

（鳥取市で配布しているチラシ）

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

庁内他部署との連携の強化

【鳥取市熱中症対策担当者会議の開催】

4/28 第1回担当者会議（9部署対象）開催
夏季に向けて各課の取組を確認
及び事業連携の呼びかけ

10/24 第2回担当者会議（11部署対象）開催
今夏の取組の振り返り及び課題
や来年度に向けた取組等の共有



(担当者会議の様子)

(会長)
保健総務課長

事務局
保健総務課

秘書課広報室	鳥取市公式LINEやラジオ放送、CATV放送などのメディア媒体による熱中症予防の呼びかけや注意喚起。
協働推進課	地区公民館のクールシェルターの提供や、各イベントの際の熱中症予防啓発など、地域コミュニティの中における熱中症対策。
生活環境課	気候変動の影響に対する適応策の観点から、熱中症警報や暑さ指数等の情報提供など、熱中症の予防法の普及啓発や取組の推進。
中央包括支援センター	熱中症救急搬送者の約半数を占める高齢者宅への訪問や健康教育等における予防啓発の取組。
健康・子育て推進課	地域で行う健康指導の場における熱中症予防対策の呼びかけ。
観光・ジオパーク推進課	観光施設におけるクールシェルターの取組推進。また、近年増加する鳥取砂丘での観光客の熱中症救急搬送に対する予防対策の強化。
まちなか未来創造課	中心市街地エリアにおける商業施設のクールシェルターの取組の強化。
生涯学習・スポーツ課	スポーツ大会運営における熱中症予防対策をはじめ、民間スポーツ団体や個人スポーツ活動での熱中症の事故を未然に防ぐための予防対策。
学校保健給食課	熱中症警報等発令の際の各小・中・義務教育学校への周知や学校活動時における熱中症予防対策の推進。
危機管理課	令和6年度より新設・施行される「熱中症特別警戒情報」を含め、熱中症警報発令時や熱中症警戒情報発表時における災害の観点による対策の強化。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

令和5年度の鳥取市のクールシェルターの取組内容

協力施設を再募集し、クールシェルターの充実拡大による関係事業者との連携した取り組みの推進

- ・実施期間：6月～9月
- ・協力施設（観光施設、商業施設、公共施設等の131か所）
- ・新ステッカーを作成し、協力施設へ配付

クールシェルターの認知度向上、利用促進

- ・ウェブサイトや市報、CATV番組、コミュニティラジオ等によるPR強化
- ・報道資料提供（新聞社2社掲載、地元ケーブル放送局1社放送）

主なクールシェルター施設と分類

分類	公共施設	商業施設	観光施設
施設特徴	公民館、図書館など	スーパー、ショッピングモール、百貨店	観光施設、道の駅など
立地	中山間地域を含む市域全般	中心市街地 各商業拠点地域	鳥取砂丘、幹線道路沿線
目的	・地域住民（高齢者等） 平日日中利用 ・地域での声掛け	・市民一般利用 ・官民連携の取組として 機運醸成	・県外来訪者利用 ・地域事情に詳しくない者 への注意喚起

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介①

各施設への配布物

「クールシェルター協力施設ステッカー」

- ・シール形式
- ・協力施設からのコメントを記載
- ・SDGs関係ゴールを記載

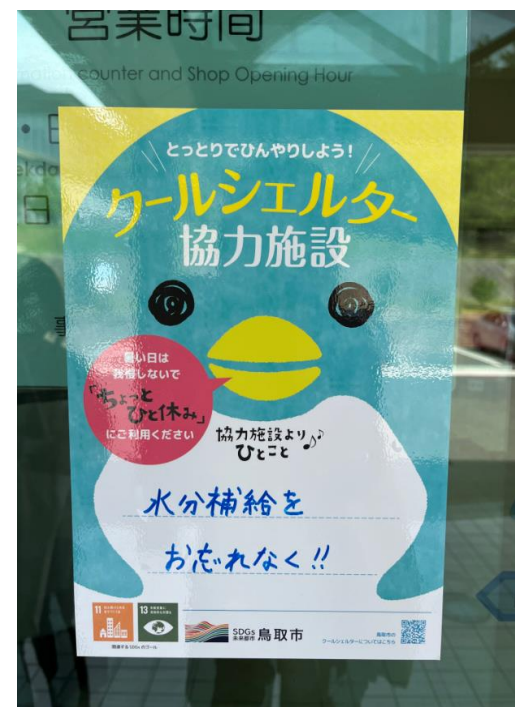


鳥取砂丘 砂の美術館

鳥取砂丘に立地する砂像展示の観光施設



- ・保冷剤、経口補水液、塩タブレット等を随時配付
- ・休憩スペース（救護所を兼ねる）を設けている
- ・ドリンクの自動販売機あり



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介②

まちパル鳥取 鳥取市ふるさと物産館

駅前、中心市街地に立地する
観光情報発信拠点・土産物販売施設



- ・店舗の一部に休憩スペースを設けている
- ・ドリンクの自動販売機あり

鳥取県立図書館

「フリースペース」はじめました！
冷水器も置いてます。
ご来館をお待ちしています。



ステッカーのサイズを拡大して
掲示していただきました。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介③



丸由百貨店（デパート）

暑いと感じたら丸由百貨店でひと涼みしてください。



砂丘ビジターセンター

鳥取砂丘に関する展示や観光案内などの情報発信・自然体験等を兼ね備えた施設

無理をせず、砂丘散策をお楽しみください。



道の駅 「西いなば気楽里」

つめたーい

ジュース、アイスコーヒーあります。
お気軽にお立ち寄り下さい。

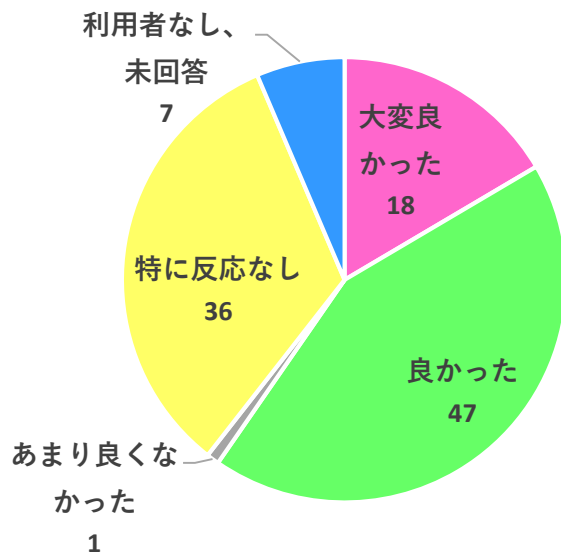
【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

アンケートの実施①

令和5年度クールシェルター登録施設：131施設
→9月後半アンケート実施
(回答数109施設)



【協力施設による利用者の反応】

- ・ 入って来て、「涼しい！」という声を何度も聞いた。
- ・ 待ち時間や施設利用後の歓談も兼ねて気持ち良く涼んでおられた。
- ・ 暑いと言われることがあった。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

アンケートの実施②

【独自の取組内容について】

取組内容	回答109施設（取組施設数131）
イスの設置	47
冷房を効かせた	79
飲料水の提供	38

(その他)

砂丘ビジターセンター

- ・保冷用ベスト、首巻保冷用ネックタオル貸与

道の駅「神話の里白うさぎ」

- ・熱中症対策のアメを配布

鳥取市弓道場

- ・経口補水液、冷却シート等の常備

地区公民館

- ・廊下に風鈴を飾った
- ・スポーツドリンクを提供した
- ・和室をクールシェルターとして開放
- ・チラシ配架、ポスター掲示、ホームページ・文字放送による周知

休憩スペースを設置

鳥取市役所 駅南庁舎



等

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

アンケートの実施③

【取組の良かった点】

利用者に喜んでもらえた

- 冷たい水をもらって助かったと言われた。
- 教養講座・サークルなどを利用している人が、館内に入って涼しく気持ちよいという声を多く聞いた。
- 仕事の依頼がなくても、気軽に来店いただけた。

相乗効果につながった

- 施設利用目的以外の方に利用いただく機会ができた。
- ロビーでの作品展示を涼みながら鑑賞していただく良い機会となった。

【苦慮した点】

光熱費の不安

- 電気代が高騰しているため、利用時のみ冷房を使用した。
- 猛暑によりエアコンの稼働を強めていたが、電気代が昨年より20%上がり、経費の負担が大きかった。
- 玄関からの暑い空気が入るため、冷房の温度をかなり低く設定する必要があるため、電気代が増額になった。

利用目的が不明

- どなたがクールシェルターの目的で利用されたのか分からない。
- クールシェルターとして利用する意図があったかは不明だが、来られた方が涼しげにしていた点は良かった。
- 用事がある方が来館される方が多く、クールシェルターとして利用されているか不明。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルターの取組の強化

その他アンケートの意見及び取組のまとめ

認知度の向上

- まだまだ認知度が低いので、テレビ等で大々的にPRすることが必要。
- **利用者アンケート**を実施するなどサービス向上に努めていくべき。
- クールシェルターの取組と連動したイベントの開催等大々的な告知が必要。

その他

- クールシェルターで休憩をしている間に退屈にならないような工夫が必要。
- ウォーターサーバー等を設置したいが、来館者が多いため費用がかかるので、助成金等があれば検討できる。
- 熱中症はどこでも起こりうることなので、飲料水や、体を冷やす氷嚢などの最低限必要な物品を配置してもらえると役に立つ。

改善点・要望

ステッカーについて

- 協力店に貼る**A4判の案内ステッカー**は、見やすいようにもっと大きくても良い。
- ステッカーだけではわかりにくいので、旗や看板、グッズ類などがあれば良い。



今後も引き続き協力施設を募集し、認知度向上に向けた**PR**の強化にも努めていく。
また、今後は利用者へのアンケートについても検討を行う。

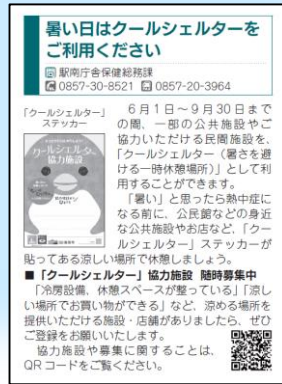
【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシェルトターの取組の強化

クールシェルトターのPRについて①

【チラシや市報による紹介】



【テレビや新聞による紹介】



取材撮影時の様子



ウェブサイトによる
「クールシェルトターマップ」
(鳥取市地図情報サービス)



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

クールシeltersの取組の強化

クールシeltersのPRについて②

【ラジオ番組による紹介】



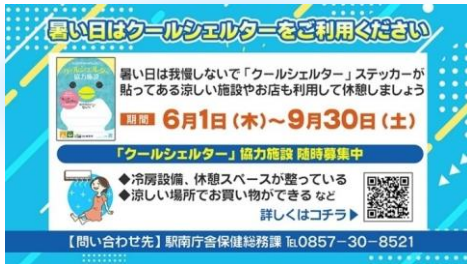
【まちなか情報誌による紹介】



主にまちなかの
クールシeltersを紹介
巻末には、クールシelters
マップを掲載



【テレビの文字放送による紹介】



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問によるアンケート取組説明の流れ

声掛け

高齢者の熱中症搬送者数が多く、その大半が住宅内での発症であるという現状とその理由及び室内における熱中症の予防対策法などを説明。
(チラシを配付しながら説明)



温湿度計とアンケートの説明



実践

高齢者自身にアンケートをしていただく

民生委員さんへの手順書



民生委員訪問の様子

【取組の結果】

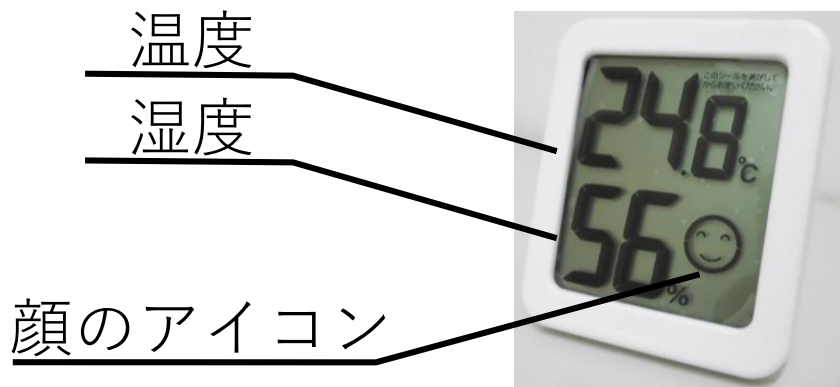
温湿度計及びアンケート票の配布数 2, 961部
アンケート票回収数 2, 256部
(回収率約 76%)

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

実際に使用した温湿度計及び啓発チラシ



啓発チラシ
(環境省)



アイコンは「日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver3.1」に基づいた区分分けの表示

危険	厳重警戒	警戒	注意
熱中症	熱中症	熱中症	熱中症

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

配付アンケートの内容

熱中症対策のアンケート調査

あなたの基本情報を記入してください。

年齢 () 歳 性別 (男・女)

普段、熱中症対策として気を付けていることはどんなことですか？
(当てはまるものを全てOをしてください)

- こまめに水分をとる
- エアコン・扇風機を上手に使用する
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 暑い時は無理をしない
- 涼しい服を着る
- 部屋の風通しを良くする
- 緊急時や困った時の連絡先を確認
- 涼しい場所や施設 (図書館など)
- その他 ()

A4サイズの見開きタイプ

(一部抜粋)

温度 _____ 度

湿度 _____ 度

今の室温の環境をどう感じていますか

- ①暑い
- ②やや暑い
- ③ちょうど良い
- ④やや寒い
- ⑤寒い

熱中症の予防対策法や注意喚起を呼びかける内容を掲載

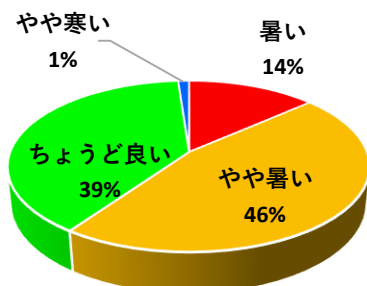
【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

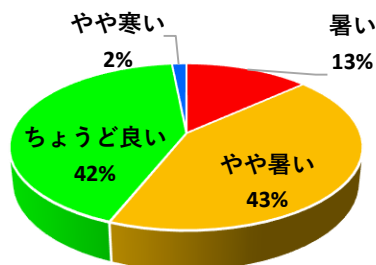
独居高齢者の屋内における熱中症対策

アンケートの結果①

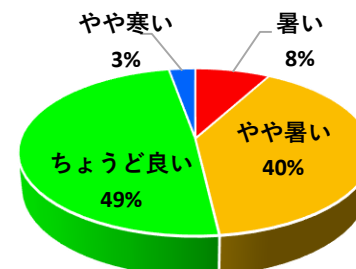
暑さ指数「警戒」（中等度以上の生活活動で熱中症が起こる危険性あり）における体感



(70代：データ数 3403)

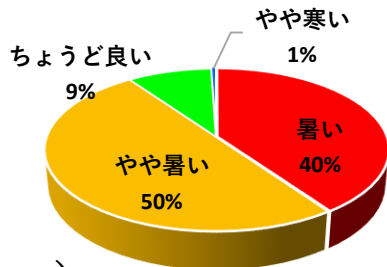


(80代：2771)

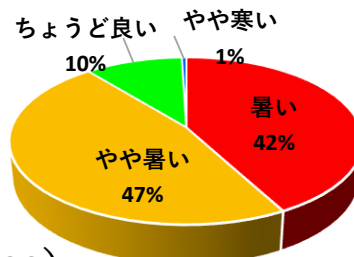


(90代：673)

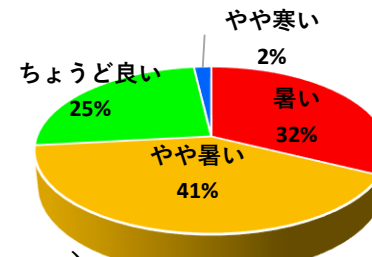
暑さ指数「厳重警戒」（全ての生活活動で熱中症が起こる危険性あり）における体感



(70代：952)



(80代：800)



(90代：161)

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

アンケートの結果②

(アンケート終了後) 熱中症対策として、どんなことをしていましたか？

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。
 最後に、この1週間を通して感じたことを教えてください。

Q1. 熱中症対策として、どんなことをしていましたか？
 (以前からしていた事も含め、当てはまるもの全てを記入してください)

1. こまめに水分をとる
2. エアコン・扇風機を上手に使用する
3. シャワーやタオルで体を冷やす
4. 暑い時は無理をしない
5. 涼しい服を着る
6. 部屋の風通しを良くする
7. 緊急時や困った時の連絡先を確認している
8. 涼しい場所や施設(図書館など)を利用する
9. その他 ()

Q2. 熱中症やその予防対策に関心が高まりましたか？
 (はい ・ いいえ)

Q3. 天気予報など暑さに関する情報への関心が高まりましたか？
 (はい ・ いいえ)

Q4. 自宅で温湿度計を確認することが増えましたか？
 (はい ・ いいえ)

Q5. これからも温湿度計を確認しようと思いましたか？
 (はい ・ いいえ)

アンケートは以上となります。
 御協力いただきありがとうございました。
 これからも熱中症に気をつけてお過ごしください。

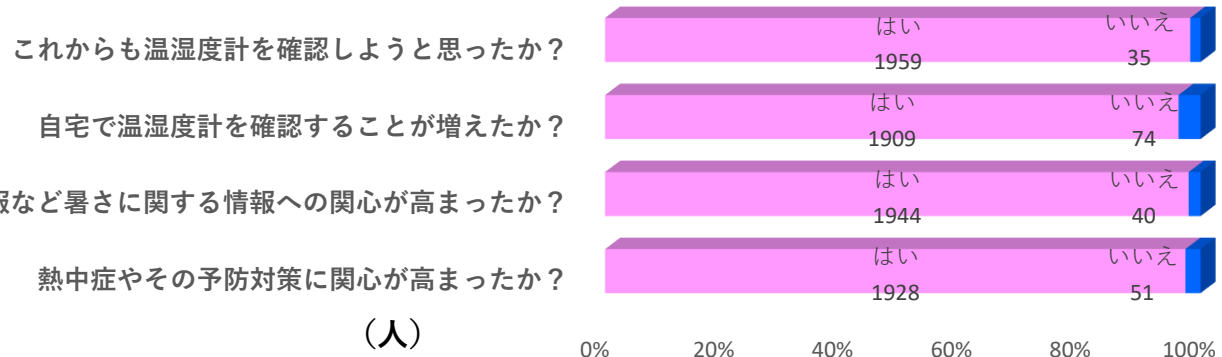
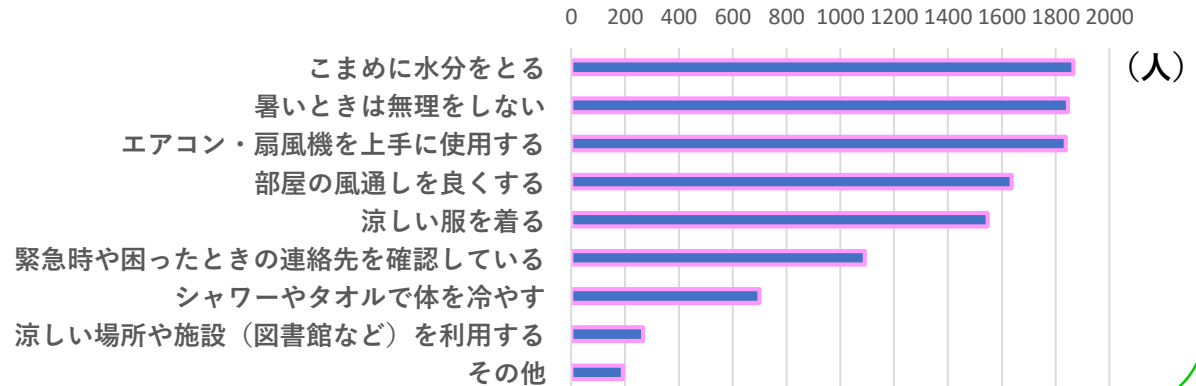
(アンケート票の巻末)

天気予報など暑さに関する情報への関心が高まったか？

熱中症やその予防対策に関心が高まったか？

これからも温湿度計を確認しようと思ったか？

自宅で温湿度計を確認することが増えたか？



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問された民生委員からの意見① 「高齢者の反応」

体感より室温が高く驚いた

- ・自分の感じる温度と部屋の温度に差があって、びっくりしたことがあった。
- ・室温が32度となっていた時の体感温度が30度もない方がおられた。

温湿度計が見やすく、便利

- ・温湿度計の文字が大きく見やすい。
- ・温度、湿度に応じて顔の表情が変わるタイプであることから、危険を認知しやすい。

温度・湿度を気にするようになった

- ・温湿度計を確認することが増え、エアコン利用や水分補給につながった。
- ・アンケート後も測るのが楽しみになり、毎日測っている方もある。

意識向上が見られた

- ・毎日の温度・湿度、体調等を確認することで、熱中症に対する意識が高まった。
- ・温湿度計を見ることで、自己管理がより一層持てるようになったと大変喜んでおられた。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問された民生委員からの意見② 「生活の様子」

普段から熱中症対策を取られている

- ・今年の夏はとても暑かったため、例年以上に気を付けておられる方が多かった。
- ・アンケートに協力していただいた方については熱中症対策についての知識が十分であり実践されている。
- ・外出時に体への負荷がかかりすぎるので、エアコンの設定温度を下げすぎないようにしていると話される方もあった。

エアコンの利用状況について

- ・冷房は体調が悪くなるから極力使用しない人や、一人だからもったいないとエアコンを使用しない人がいた。
- ・エアコンはあっても、電気代を気にして使わない人もいた。
- ・エアコンの使用を午後からと我慢しておられる方やエアコンを設置していない方もあり心配である。
- ・高齢者の方はエアコンの冷たい風が苦手で、部屋にエアコンがあってもうまく使いこなせていない様であった。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問された民生委員からの意見③ 「取組について」

猛暑日の中の訪問について

- ・今夏は例年になく猛暑で、アンケートの依頼と回収は体力的なストレスが大変であった。
- ・自身が高齢者である民生委員にとって対象者を訪問するのは負担が大きい取組であると感じた。

コミュニケーションの機会が増えた

- ・コミュニケーションを取る1つのツールにもなり、話題が増えて良かった。
- ・今後アンケート調査に協力した高齢者の方々の民生活動が円滑になっていく印象を受けた。

今回取組の対象外となった人について

- ・今回の対象者に含まれていない方で、エアコンを設置していない方がおり、熱中症が気になる。
- ・独居の方だけでなく、高齢者二人のみの家庭の危険も大きいと感じている。
- ・アンケートに協力してもらえない人の方が問題ではないだろうか。

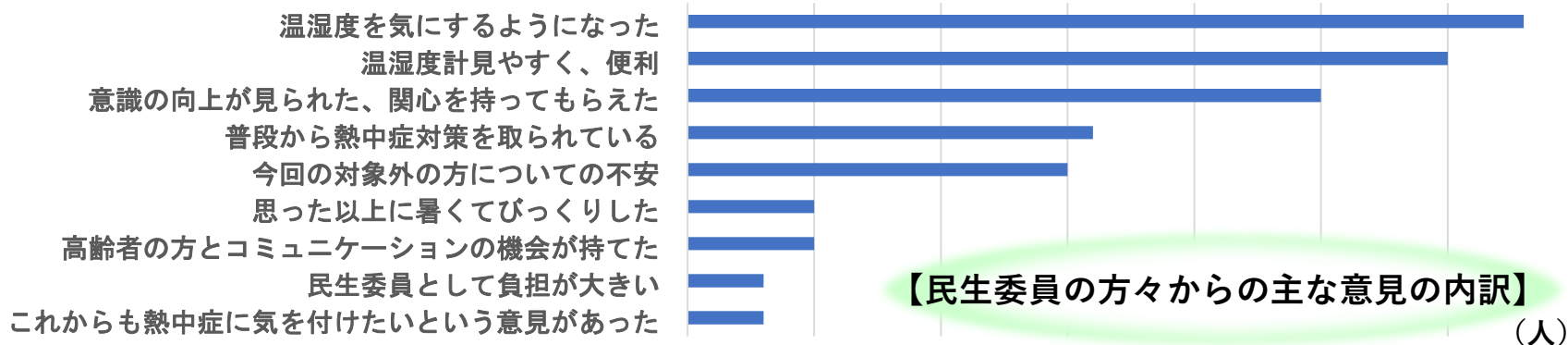
【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

独居高齢者の屋内における熱中症対策

取組のまとめ

0 5 10 15 20 25 30 35



- 「温湿度計が見やすく非常に好評であった」「毎日アンケートの記入をされることにより、温度・湿度を気にかけるようになった」といった、温湿度計を活用した高齢者の熱中症対策に対する肯定的な意見を多くいただいた。
- 一方で、今回アンケートの対象とならなかった方を心配する声が寄せられ、中には「アンケートを拒否された方が後日熱中症により搬送された」という事案もあった。
- 「アンケートが面倒」「年を取って字が書けない」「目が悪い」といった方にも、民生委員さんの代筆や、何度も説得をしていただいたことで、多くの高齢者の熱中症予防に繋がったと考えられる。
- 今後も、地域のつながりを大切にしながら、高齢者自身が熱中症の危険性を認識し、積極的な予防対策を心がけるよう促していきたい。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

熱中症予防対策動画の制作

動画の内容

熱中症の予防対策を
イラスト動画で
分かりやすく紹介



保健所の
保健師が解説



(動画撮影時の様子)

場面による対策
の違いを紹介



年齢による熱中症
発生の違いを紹介



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

熱中症予防対策動画の制作

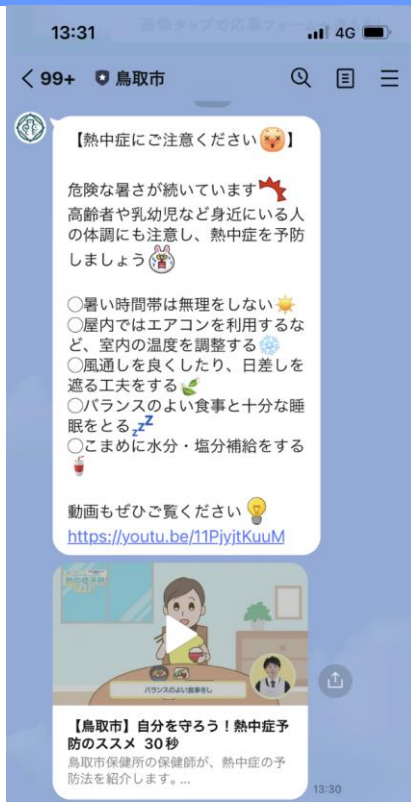
動画の活用について

【庁内各部署における活用】

- 市公式LINEへ動画URLを掲載
- 集団健診や公民館の学習会前、人権集会の開始前待ち時間にテレビでリピート再生
- 安全管理研修会や園内研修、職員研修でDVD視聴（保育園関係部署）
- 「フレイル予防教室」や「介護予防教室」で視聴（写真参照）

【その他】

- テレビCMで放映
- YouTube掲載
- ショッピングモールのデジタルサイネージで啓発



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

モデル事業取組の総括

クールシェルターの取組の強化

協力施設に対して厳密な要件を定めていないため、各施設により独自の工夫をしていただくことができた。一方で、施設の規模や利用者の違いによる課題や、認知度向上・PR強化の必要性が明らかとなった。今後も引き続きクールシェルター利用促進のための積極的な取組を行い、熱中症予防へ繋げていく。

独居高齢者の屋内における熱中症対策

本取組を通して、多くの高齢者の方に温度と湿度の計測により「熱中症に対する意識」を持ってもらうことができた。また、高齢者の熱中症に関する実態を明らかにすることができた。この度のアンケート結果を活用して、引き続き民生委員をはじめ、地域で活動する関係者と連携を図りながら地域の高齢者の方へ向けた熱中症の注意喚起を地域の様々な集まりの場で行い、予防対策を浸透させていく。

熱中症予防対策動画の制作

テレビCMやまちなかのデジタルサイネージによる市民の方への呼びかけをはじめ、健康教室や市役所窓口での待ち時間のリピート再生など、幅広い年齢層の方に熱中症の予防対策を呼びかけることができた。今後も引き続き積極的な動画の活用を呼びかけていく。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【その他取組】救命士に対する熱中症アンケート①

救急搬送に携わる救命士の方々に
熱中症の疑いにより救急搬送された方に関する
アンケート調査を実施
→熱中症で搬送される方の傾向を分析

アンケート内容 （主に「居住空間」における搬送について）

- ・本人・通報者が熱中症であると自覚・認識している程度
- ・通報から搬送までに対策をされているケース
- ・熱中症で搬送される方に多く見られる特徴
- ・搬送者が過ごされていた部屋の様子について
- ・搬送者は部屋の暑さをどう感じていたか 等

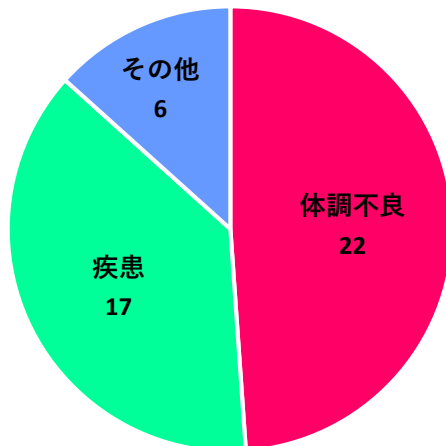
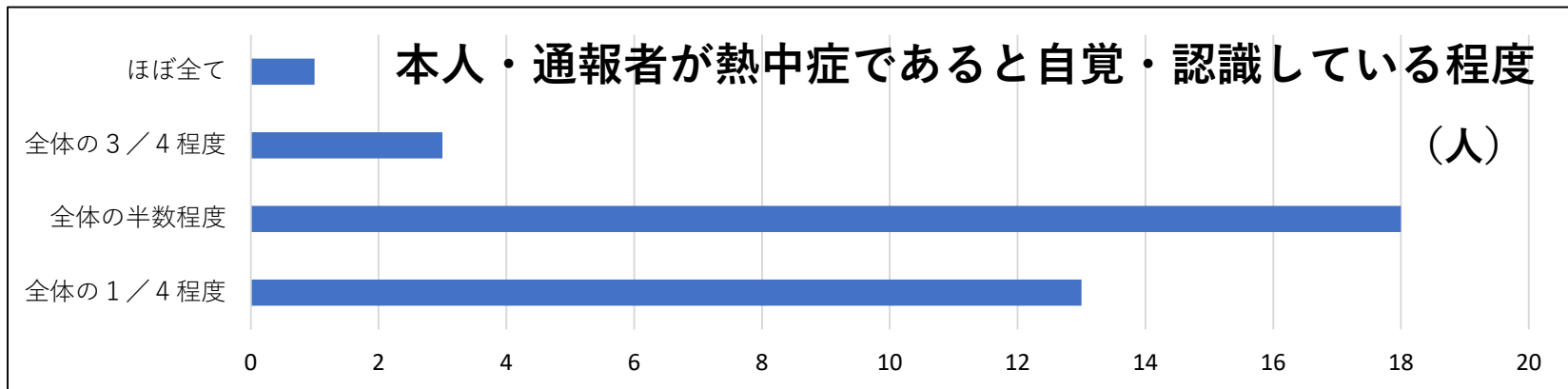
アンケート結果

- ・回答者 35名

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【その他取組】 救命士に対する熱中症アンケート②



熱中症であると自覚・認識していない方について
他に考えられる要因（複数回答可）

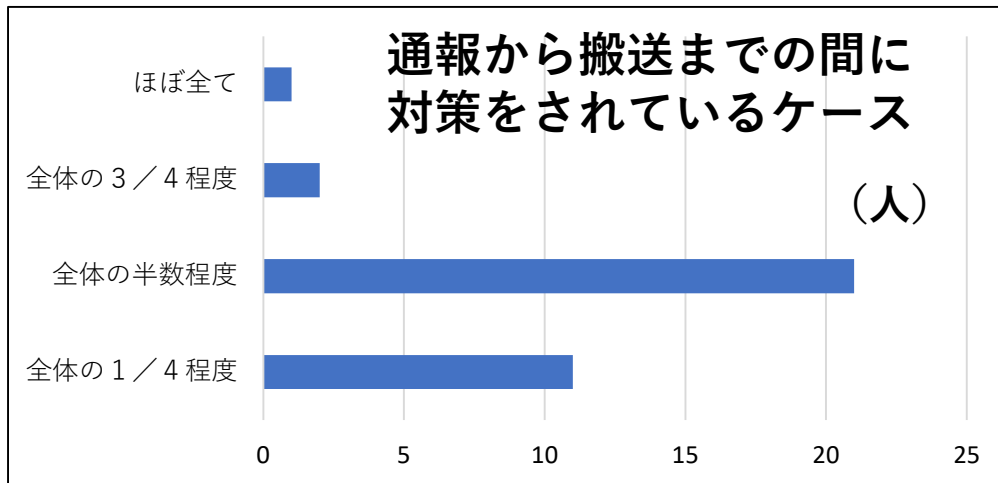
「その他」で挙げられた要因

- ・体力の低下を認識できていない
- ・前日にアルコールを摂取している
- ・認知症

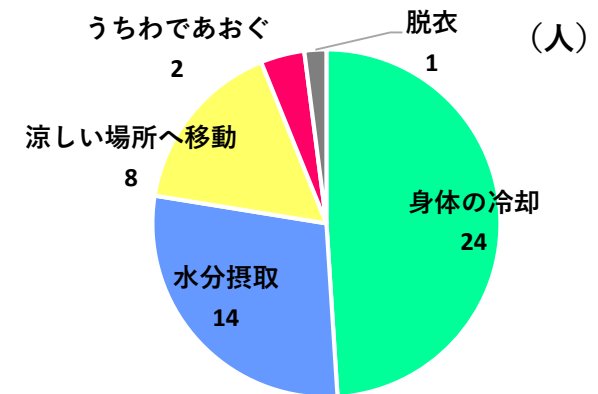
【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【その他取組】救命士に対する熱中症アンケート③



実際に対策をされていた内容 (複数回答可)



熱中症で搬送される方に多く見られる特徴 (複数回答可)

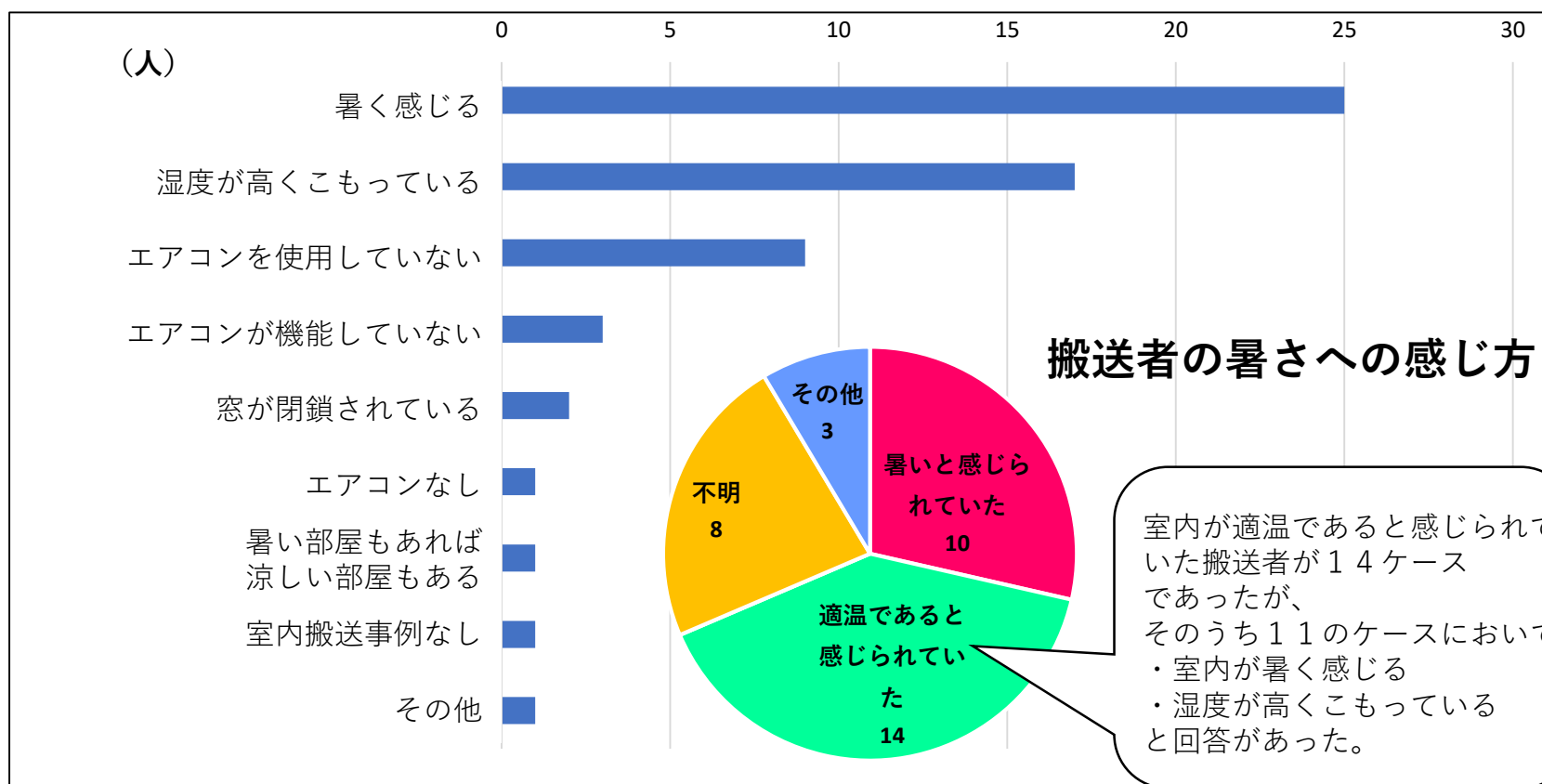
- ・ 食事と水分の摂取不足。あるいは水分を積極的にとらない。
- ・ 室温管理が不十分。
- ・ 熱中症に対する認識や危機管理、未然に防ぐための対策ができていない。
- ・ 畑作業など、高温環境下で作業を行っている。
- ・ エアコンの使用を嫌っている。

【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【その他取組】救命士に対する熱中症アンケート④

室内搬送者が過ごされていた部屋について（複数回答可）



【鳥取市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

その他各部署等における熱中症対策の取組について（一部紹介）

【観光・ジオパーク推進課】

- 「第59回鳥取しゃんしゃん祭」の開始時間を遅らせ、開催日のみの一時的なクールシェルターを設置。またミスト散布を行った。

【各総合支所】

- 各集落の健康教室や高齢者サロンで啓発
- 健康支援団体への健康相談で情報提供

【市立中央図書館】

- 関連する図書を展示するなどし、熱中症対策を知ってもらう機会を増やした。

【幼児保育課】

- 鳥取県熱中症警報等発令時には各保育園等や地域子育て支援センター、児童館に周知し、熱中症予防対策を行うよう依頼した。

【障がい福祉課】

- FAXやメールにて定期的に聴覚障がい者に様々な情報発信を行う事業の中で、熱中症の注意喚起を実施。



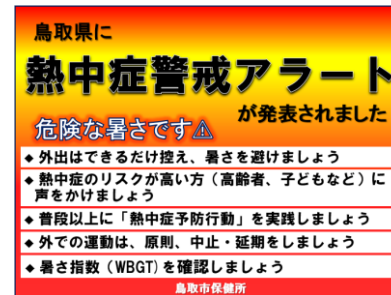
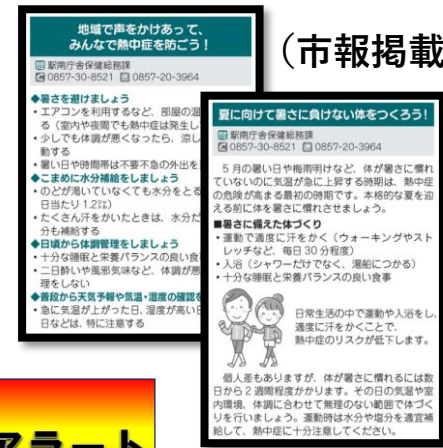
（鳥取しゃんしゃん祭の様子）

【鳥取市】 6. 現在の熱中症対策の取組状況・独自予算

(1) 取組状況の概要

- 暑い時期が始まる前に、HPによる暑熱順化の呼びかけや庁内各部署への通知。
- 各種施設（行政施設や公民館）啓発コーナーにて熱中症予防対策に関するチラシ・うちわ等を設置及びポスターの掲示。
- 市報・ラジオCM、庁内デジタルサイネージ等による熱中症の注意喚起。
- 市立中央図書館において本日の暑さ指数の掲示、及び保健所内で日々の予想最高気温等の情報を掲示。
- 地域の民生委員や市役所保健師が高齢者宅を訪問時に、熱中症予防対策の声掛けを行う。
- 熱中症警報・熱中症特別警報発令時及び熱中症警戒アラートが発表された際は、HPによる発信及び庁内通知により各部署から関係機関へ注意喚起を行う。
- コロナウイルスワクチン集団接種会場でチラシを配布（令和3、4年度のみ）。
- 各部署における熱中症対策の取組実績を集約した内容を、庁内の市政推進統括本部会議において情報を共有する。

(市報掲載記事)



(庁内デジタルサイネージ掲載例)

(2) 独自予算額等

特になし

【鳥取市】 7. 年間スケジュール

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート票作成・印刷		■										
アンケート票・温湿度計配付			■									
アンケート実施期間			■	■	■							
アンケート票集計・分析						■	■					
クールシェルターのステッカー・チラシ制作	■	■										
ステッカー・チラシ配布、広報活動 (市報・ウェブサイト)		■	■	■	■	■						
クールシェルター開放期間			■	■	■	■						
動画制作		■	■									
動画活用期間			■	■	■	■						
庁内の熱中症対策取組の取りまとめ	■						■					
庁内の熱中症対策担当者会議	■						■					
環境省に中間報告書を提出							■					
環境省に最終報告書を提出									■			